

2025年度 新人看護師紹介



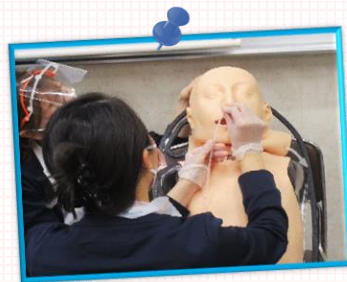
4階東病棟 栗原

川内看護専門学校を卒業し、4月から看護師として働くことになりました。看護師としてはゼロからのスタートで、慣れない事も多いですが、少しでも早く業務を覚えることができるよう努力していきます。ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



3階病棟 古菌

川内看護専門学校を卒業し、4月から看護師として入職しました。家族に看護師がおり、幼い頃から看護の話を聞いていたので、患者さんに関わる職業に憧れ看護師を目指しました。看護師として働くことに嬉しい気持ちと不安な気持ちがありますが、先輩方からご指導をいただきながら日々勉強し社会人として看護師として成長できるように頑張りたいと思います。慣れない事が沢山あり、迷惑をかける事もあると思いますが、よろしくお願い致します。



吸引



4階西病棟 谷下

学生時代の実習では知ることのできなかった高度な知識や技術に日々触れ、目の前の一つひとつの出来事から多くの学びを得ております。分からないことや戸惑うことも多く、皆様のお力をお借りすることも多々あるかと思いますが、患者さんに安全で安心な看護を提供できるよう、一日でも早く一人前になれるよう努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

採血



3階病棟 山上

神村学園を卒業し4月から看護師として働くことになりました。看護師になった理由は、母が看護師であったことや、私が看護師になる事で色々な方にも恩返しになると思ったからです。看護学校で学んできたことを、より詳しい内容まで理解して患者さんと向き合っていきたいです。分からない事が多く、頼りにならない部分もありますが、皆さんに協力してもらいながら、職場の環境にも早く慣れてより良い看護が提供できるように学んでいきたいです。これからよろしくお願い致します。

手術室 古川

昨年度まで看護補助者として勤務しておりました。今年度より看護師として新たな一步を踏み出しました。これまでの経験を活かし、患者さんに寄り添った看護を提供するだけでなく、確かな知識と技術を身に付けていけるように努めてまいります。まだまだ未熟な点も多いかと思いますが、「報告・連絡・相談」はしっかりと行い、先輩方のご指導を仰ぎながら日々精進していきます。これからよろしくお願い致します。

エルダーとして新人看護師オリエンテーションの講師を通して



4階東病棟 田代

今年度エルダーとして、新人オリエンテーションで呼吸・循環を整える技術（酸素・吸引、安楽確保）を担当しました。S-QUEを活用し、基準・手順に沿ってプレゼンテーションを実施しました。昨年プリセプターとして、知識や技術だけではなく、言葉遣いや伝え方などを工夫する事の大切さについて学んだので、指導の際にはそれらを意識して取り組みました。5月から配属される新人看護師との関わりでも学んだことを活かしOJTを通して、フィードバックしながら一緒に頑張っていこうと思います。



4階西病棟 上白石

今年度エルダーになり、新人看護師オリエンテーションで与薬の講義を担当しました。新人看護師にどのようにしたら分かりやすく、与薬の手順や注意点を伝えられるかを考え、薬剤師にも協力をもらいながら当日講義に臨みました。新人看護師の真剣なまなざしに緊張しながらも、今年度から導入されたS-QUEを活用しながら、講義を終える事が出来ました。今、ローテーションで来ている新人看護師に講義どうだったと質問すると、「優しく声掛けをしてくださったので緊張もあったけど、講義を聴く事ができました。」と笑顔で答えてくれました。その言葉で、私自身も一緒に学びながら成長していけたらと決意を新たにしたところです。1年間一緒に頑張ります。

2025年度 看護部委員会目標



業務委員会：「セル看護体制の向上」～タイムスケジュールの遵守～

上記目標を掲げ、活動をおこなっていきます。活動内容として、業務量調査表の見直しを行い、より正確な患者様の傍にいる時間の把握を行っていく予定です。また、例年行っている業務量調査や、担当看護師の名前掲示監査を実施し、セル看護体制の定着と質の向上を目指しています。皆さまのご協力をお願いいたします。

基準手順委員会：「看護スタッフへの基準・手順の周知」

基準手順委員会は、新しい看護基準・手順の作成、内容の改訂実施を目的として活動しており、看護スタッフへの基準・手順の周知を目標に活動を行っています。活動内容として、リスクマニュアルに沿った基準手順の作成、改訂・周知に取り組んでいます。電子カルテのホーム画面の「マニュアル関連」の中の「看護基準手順」の項目にマニュアルが入っています。是非ご活用ください。また、新人教育を行う際はマニュアルに沿った指導をよろしくお願いします。

情報管理委員会：「看護記録の質を高めること」

情報管理委員会は、看護記録の質を高めることを目標とし、活動内容としてマニュアル改訂や看護計画評価・参画型看護の実施率を80%と設定しています。評価率を達成できるように、リンクナースが中心となって活動しています。また、質的監査・量的監査を2回/年行い、当院で設定した記録の記載基準に則って看護実践の一連の過程が記録されているか、その記録は質・量ともに十分であるかを監査します。監査結果データの集計、評価を行っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

教育委員会：「看護職員の自主性・自立性の向上を図りキャリアデザインを描ける」

- ① 集合研修、自主研修の運営・企画が円滑にできる。
 - ・ S-QUEのE-ラーニング方法の定着
 - ・ 自主研修への支援
- ② 教育委員として、病棟管理者との橋渡し、OJTの実践
 - ・ 新人育成への働きかけと指導者との連携
 - ・ ラダーごとで取り組む各課題への支援

S-QUEのE-ラーニングは、クリニカルラダーごとに研修のカリキュラムが構成されているため、集合研修へも活用し、ラダー別の集合研修を企画・運営します。また、自己研修を個人に選択してもらい、個々に合わせて受講を推進していきます。専門職としての自覚を持ち、皆さんが自身の看護力を高められる機会となるように支援していきたいと考えていますので、今年度も積極的な研修への参加をお願いします。





2025年度 部署目標



外 来 ～「変化を恐れず、一步前へ」

今年度に入り、外来の改修工事をしています。外来の見た目だけではなく、個人の成長・外来診察枠の拡大など、少しずつ変わろうとしています。地域の中核病院の窓口である外来、『変化を恐れず、一步前へ』をテーマに昨年とは違う外来になるよう建設的に取り組んでいきます。

手術室 ～「効果的なカンファレンスの実施により質の高い手術看護を実践できる」

自らの力を最大限に発揮するために、コミュニケーションは不可欠と考えます。カンファレンスを充実させ、コミュニケーションを通してチームビルディングを行うことで、個々のパフォーマンス向上と質の高い手術看護の実践に結び付けていきたいと思ひます。

3階病棟 ～「多職種で連携し良質な医療が推進できる」

1. チーム医療の推進・包括システムを利用した継続看護の提供
2. ホスピタリティ精神の向上
3. 定期的な学習による専門性の向上

昨年同様に勉強会開催や各個人の力を集結し病棟スタッフの底上げをし、地域に選ばれる急性期病院として、他職種と連携し患者、家族が入院して良かったと思える病棟を目指します。



4階東病棟 ～「患者の生活を考えるチーム医療の実践」

2024年度は、チーム医療の実践を目標に活動をしていました。他職種と連携してカンファレンスや退院に向けた調整を早期に介入をしてきましたが、個人に合わせた計画や実践が間に合わない事もありました。その為、引き続き昨年と同目標として一人一人に合わせた、チーム医療が提供できることを目標に関わっていきたいと考えました。

4階西病棟 ～「患者さん側で、丁寧な関りと看護を提供する」

* 4グループで、それぞれに年間目標を立案し、目標達成に向けた活動を行います。

1. 看護計画の修正と看護提供
2. セル看護：患者の側で看護を提供する。
3. 接遇の充実
4. ケアの充実（看護補助者）、昨年度の活動を今年度、一步前進させカンファレンスで行った内容を看護計画に反映し、患者の側で記録や観察を行う事で、インシデントの減少や患者さんへの先取り看護に繋げていきたいと考えています。また、看護を提供する医療人として、患者さんへの適切な態度や言葉遣いで接することを基本にケアの充実を目指していきます。



回復期リハビリテーション病棟 ～「患者さん個々に合わせた退院支援を実施する」

回復期病棟は昨年度より入院基本料1を取得しており、限られた在院日数の中で退院支援をより充実させていく必要があります。そのために今年度は、ブロックカンファレンスを有効活用し個別性のある看護指示を追加することで、「できるADL」と「しているADL」の差を低減できるよう実践していきます。また、病棟リハビリを充実させ患者さんが望む日常生活動作の獲得を目指します。

HCU ～「患者・家族の意思を尊重した安心・安全なチーム医療の提供」

高度な治療を要す中でも、患者・家族の気持ちへ寄り添い、意思を尊重するための多職種との情報共有や他職種カンファレンスの充実を図り、シームレスケアを行っていききたいと思ひます。また、定期的な勉強会の開催を行い、専門性の向上を図り、質の高い看護の実践に努めます。

PFM ～「入退院支援看護師としての専門性を高め、多職種連携・協働の力を発揮する！」

昨年に引き続き、入退院支援看護師として知識・技術を習得し、専門性を発揮することで、院内・院外との多職種連携・協働ができるように取り組みたいと思ひます。今年度は、習得した知識を部署内で伝達・共有することで学びを深め、アセスメント力の向上やカンファレンスでの提案などに活かしていきたいと思ひます。

特定行為研修を受けて

3階病棟主任 佐藤

今年度特定行為に係る看護師の研修を受講させていただきます。当院の基本方針である「質の高い急性期医療を推進し、高次救急医療の確立を目指します。」の役割を担える看護師を目指し、特定行為看護師研修を受講を希望しました。「動脈血液ガス分析関連」についての資格取得のため、計画的に講義を受講し、患者ファースト・安全・安心を提供できる看護師を目指して自己研鑽に励んでいきたいと考えております。



看護部HP更新中

副看護部長 久留須

現在病院のホームページ更新を進めています。まず第1弾として看護部採用特設サイトを3月末に更新しました。看護部を多くの方に知って頂くことを目標に「働く環境」「特徴」「看護部長挨拶」「特定・認定看護師紹介」「育成・キャリア」「働き方の紹介」の項目ごとに紹介しています。「育成・キャリア」のページでは看護部での教育方針やテーマ、新人教育、現任教育について紹介してあります。今まで同様に「ひまわり」も随時更新していきます。このような媒体をフル活用し、看護部の現況を発信し人材確保へ繋がることを期待しております。

* 看護部 LINE 始めました *



マイブーム

回復期リハビリテーション病棟 田中

私のマイブームは、水を2ℓ飲むことと、MCTオイルを摂取することです。子供の頃からアトピーがあり、どちらもアトピーにとって良いと思い実践しています。水を多く摂ることで体内の老廃物が排出され、血行を促進しデトックス効果や便秘解消にもつながります。さらに血流が良くなるので肌にも良く、基礎代謝が上がります。MCTオイルは患者さんの食事にも時々使われています。摂取することにより代謝を促進し、脳のエネルギー供給や抗炎症作用、集中力の維持など多くのメリットが得られます。お肌や髪にも良いといわれているのでオススメです。



<編集後記>

新年度になり、S-QUEを活用した集合研修が始まりました。自己研修も並行して、計画的に取り組んでいきましょう。活用方法で不明なことや疑問点は教育委員へお知らせください。〈松下〉

